

愛知東邦大学 シラバス

開講年度(Year)	2020年度	開講期(Semester)	後期
授業科目名(Course name)	【併用】専門演習Ⅳ		
担当者(Instructors)	藤沢 真理子	配当年次(Dividend year)	4
単位数(Credits)	2	必修・選択(Required / selection)	必修

■授業の目的と概要(Course purpose/outline)
専門演習Ⅲの内容を引き続き進めていく。グループや個人で考えた「防災と福祉」に関するテーマや内容について、情報収集やフィールドワークなどを通して調査活動を行い、プレゼンテーションする。

■授業形態・授業の方法(Class form)	
授業形態(Class form)	演習
授業の方法(Class method)	授業の内容に応じて、ディスカッション、プレゼンテーション、グループワークを取り入れる。

■ 各回のテーマとその内容(Each theme and its contents)			
回数(Num)	テーマ(Theme)	内容(Contents)	メディア区分(Media)
第1回	ガイダンス	専門演習Ⅲを振り返るとともに、専門演習Ⅳの進め方を理解する	☐
第2回	ゼミ論文の学生同士の論評	専門演習Ⅲで作成したゼミ論文を学生同士で論評する	☐
第3回	プレゼンテーションのため資料収集の復習	プレゼンテーションのため文献や雑誌論文の検索など資料収集を復習する	☐
第4回	プレゼンテーションのテーマ中間発表	プレゼンテーションのテーマを中間報告する。	☐
第5回	プレゼンテーション参考文献の提出	プレゼンテーション参考文献を提出する	☐
第6回	プレゼンテーション構成の提出	プレゼンテーション構成を提出する	☐
第7回	プレゼンテーション序論の提出	プレゼンテーション序論を提出する	☐
第8回	プレゼンテーション注と参考文献	プレゼンテーション注と参考文献について理解する	☐
第9回	プレゼンテーション中間段階の学生同士の論評	プレゼンテーション中間段階で学生同士が論評する	☐
第10回	プレゼンテーションの修正	前回論評を参考にプレゼンテーション内容を修正する	☐
第11回	プレゼンテーション（第1グループ）	地震に関する調査報告の第1グループが発表する	☐
第12回	プレゼンテーション（第2グループ）	津波に関する調査報告の第2グループが発表する	☐
第13回	プレゼンテーション（第3グループ）	台風に関する調査報告の第3グループが発表する	☐
第14回	ゼミナール大会の準備	ゼミナール大会に個人もしくはグループで発表するか決定する	☐
第15回	ゼミナール大会	ゼミナール大会で研究報告する	☐

■授業時間外学習（予習・復習）の内容(Preparation/review details)
事前学習として、2時間程度、関連資料や新聞や図書などを読んで準備する。事後学習として、2時間程度、ゼミで学んだことをまとめることを課す。

■課題とフィードバックの方法(Assignments/feedback)
課題は、翌週フィードバックし、全体で共有する機会を持つ。

■授業の到達目標と評価基準(Course goals)		
区分(Division)	DP区分(DP division)	内容(DP contents)
	◆ 2018人間健康DP2	防災と福祉の分野における問題意識をもち、解決方策を探究できる。

■成績評価(Evaluation method)				
筆記試験(Written exam)	実技試験(Practical exam)	レポート試験(Report exam)	授業内試験 (in-class exam)	その他(Other)
			50%	50%
授業内試験等(具体的内容)(Specific contents)				
各自のテーマに応じて、プレゼンテーション資料を作成し、発表する。 また、「出席」になるには、対面授業（対面授業ができない状況ではリアルタイム授業）に参加することが求められる。				

■テキスト(Textbooks)		
No. (No.)	テキスト名など(Text name)	ISBN(ISBN)
1	必要に応じ資料を配布する	
2		
3		
4		
5		

■参考図書(references books)		
No. (No.)	テキスト名など(Text name)	ISBN(ISBN)
1	授業の中で適宜紹介する	
2		
3		
4		
5		